

大豆の紫斑粒が多くなっています！

県内15地点の大豆定点ほの子実を調査した結果、すべてのほ場で紫斑粒の発生がみられ、ほ場率、紫斑粒率ともに過去10年で最高になりました。1地点では紫斑粒率が47.9%となるなど、一部の地点では大きな被害を出しています(表1,2)。今後、出荷調整や来年度のは種時に紫斑粒を丁寧に除去してください。

なお、現在、今回の多発生の原因を究明中です。

表1 経年値との比較

年度	ほ場率 (%)	紫斑粒率 (%)
本年	100	5.4
(平年値)	58.7	0.4
H20	73.3	0.9
H19	53.3	0.2
H18	40.0	0.8
H17	81.3	0.7
H16	87.5	0.9
H15	42.9	0.1
H14	43.8	0.1
H13	56.3	0.2
H12	56.3	0.2
H11	52.9	0.1

* 平年値：過去10年の平均値

表2 各ほ場の紫斑粒率

ほ場	紫斑粒率 (%)
北部 A	1.0
B	8.9
C	2.9
D	0.1
E	0.1
F	0.2
G	1.6
H	0.1
中部 A	9.9
B	1.0
C	0.6
D	3.8
E	47.9
南部 A	7.5
B	1.0

調査株数：8～10株

防除対策

発病したほ場は速やかに秋耕を行う。

種子を更新する。やむを得ず自家採種する場合、紫斑粒を丁寧に除去し、健全粒を使用する。

来年度は種子消毒を必ず行い、生育期の防除を徹底する。

詳しくは農業環境指導センター (<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/>) までお問い合わせください。

Tel(028)626-3086 Fax(028)626-3012